

化学と整理 目 次

1. はじめに

1.1 記憶と整理	1
1.2 整理と整頓	3
1.3 分類と整理	4

2. 実験に関連して

2.1 実験ノートの整理	6
2.1.1 実験ノートの表紙	6
2.1.2 記入方法	6
2.1.3 ページ番号	6
2.1.4 左右のページを使いわける方法	7
2.1.5 ルーズリーフ式ノートの賛否	8
2.1.6 略号と図の活用	8
2.1.7 温度, 湿度	9
2.1.8 ゴム印の活用	12
2.1.9 整理のための表	12
2.1.10 機器による測定データの扱い	13
2.1.11 ノートの目次	16
2.2 機器分析スペクトル図に必要な記載事項	16
2.2.1 赤外吸収スペクトル	16
2.2.2 紫外吸収スペクトル	17
2.2.3 核磁気共鳴スペクトル	17
2.2.4 粉末法X線回析図	19
2.2.5 ガスクロマトグラム	19
2.3 実験室の整理	21
2.4 実験台の整理の二, 三の例	21
2.4.1 実験台の引出しに正しいラベルをは る	21
2.4.2 引出しの中に仕切り板を入れる	22
2.4.3 ビーカーやフラスコの風袋に重量を 記入する	22
2.4.4 新しいゴム管, ビニル管	22
2.5 標品の整理	22
2.5.1 索引	22
2.5.2 保存	24
2.6 危険薬品の整理	24
2.6.1 消防法および「危険物の規制に関 する政令」を中心とした危険物整理 の手引き	25
2.6.2 防災ラベル	27
2.6.3 参考資料	29

3. 研究成果の整理

3.1 報文の書き方	30
3.1.1 当用漢字, 現代かなづかい	30
3.1.2 文章の表現	31

3.1.3	報 文 の 構 成	33	3.1.8	用 語	36
3.1.4	表 題	33	3.1.9	謝 辞	37
3.1.5	著 者 名	34	3.1.10	引 用 文 献	37
3.1.6	概要と著者抄録	34	3.1.11	参 考 資 料	38
3.1.7	本 文	35			
3.2	研究発表のための図, 表の作成技術	38			
3.2.1	レタリング	38	3.2.3	写真スライド	41
3.2.2	ケミカル・レタリング・セット	40	3.2.4	参 考 資 料	43
3.3	日本特許出願の手引き	43			
3.3.1	特許になる発明	44	3.3.4	特許出願明細書の書き方	46
3.3.2	特許にならない発明	44	3.3.5	参 考 資 料	48
3.3.3	先 願 主 義	46		付 表 用 字 例	52
4. 資 料 整 理					
4.1	情報の受入れ	54			
4.1.1	記 録	55	4.1.2	図書室と二次資料	56
4.2	資料収集と選別	63			
4.2.1	特定なテーマについての資料	63	4.2.3	特 許 資 料	71
4.2.2	新しい情報の一般的なスクリーニング—特に二次資料に関連して—	65	4.2.4	資料収集の実例	77
			4.2.5	参 考 資 料	81
4.3	抄 録	82			
4.3.1	抄 録 作 成	83	4.3.3	参 考 資 料	88
4.3.2	抄 録 の 実 例	84			
4.4	分 類	88			
4.4.1	UDC	91	4.4.3	Beilstein-System の分類	96
4.4.2	特 許 分 類	95	4.4.4	Teilheimer の有機化学反応分類	98
4.5	資料保存と検索	98			
4.5.1	資料保存の様式	98	4.5.3	新聞雑誌からの切抜き資料	100
4.5.2	抄録カードの記入法	99	4.5.4	ファイリング・システム	101
4.6	検 索	105			
4.6.1	見出しカードによる方法	105	4.6.2	索引カードによる方法	106
4.7	ハンドソート・パンチカード	106			
4.7.1	カットとソートの方法	107	4.7.3	参 考 資 料	110
4.7.2	コ ー ド	107			
4.8	ピーカブー・システム	110			
4.8.1	ピーカブー・システムによる検索	111	4.8.3	DMS Peep-hole Index	112
4.8.2	Termatex 方式	112	4.8.4	参 考 資 料	112

5. 機器分析データ集の整理

5.1 赤外吸収スペクトル	114
5.1.1 データ集の整理	114
5.1.2 DMS カード	114
5.1.3 IRDCカード	123
5.1.4 Sadtler のスペクトル集	124
5.1.5 島内式吸収帯分類方式	129
5.1.6 その他のデータ集	131
5.2 紫外吸収スペクトル	135
5.2.1 データ集の整理	135
5.2.2 刊行されているデータ	135
5.3 核磁気共鳴スペクトル	137
5.3.1 データ集の整理	137
5.3.2 High Resolution NMR Spectra Catalog (Varian Associates) vol. 1, 2	140
5.3.3 Sadtler NMR Spectra	144
5.3.4 その他の資料	147
5.4 X線回折法, データの整理法	150
5.4.1 X線回折図形データ集の整理	150
5.4.2 Hanawalt の方法	150
5.4.3 ASTM X-ray Powder Data File	151
5.4.4 The Matthews Coordinate (Termatex) Index	153
5.4.5 X線回折データのその他の分類法	155
5.4.6 結晶構造のデータ集	156
5.5 ガスクロマトグラフィー	157
5.5.1 対数尺使用によるデータ表示法	157
5.5.2 測定したガスクロマトグラムのカー ドによる保存	158
5.5.3 電子計算機によるデータ処理	160
5.5.4 ガスクロマトグラフィーに関する文 献整理	160
5.5.5 データ集整理	162
5.5.6 GCDC カードの分類コード	163
5.5.7 IBM カードによるデータ整理	167
5.5.8 索引見出し語方式によるデータ整理	167
5.5.9 参 考 資 料	168

付 録

1 <i>Chemical Abstracts</i> について	169
1.1 抄録の対象	169
1.2 抄録の内容	169
1.3 索引	169
1.4 参 考 資 料	170
2 Beilstein Handbuch の使い方の手引き	170
2.1 Hauptabteilung (部門)	171
2.2 Hauptklasse (綱)	171
2.3 誘導体, その他	172
2.4 実 例	174
2.5 参 考 資 料	175
3 Theilheimer "Synthetic Methods of Organic Chemistry" の使い方	175
3.1 記 号	175
3.2 反 応 記 載 例	175
3.3 検索上の手引き	177

4 物理恒数の調べ方.....	185
4.1 Consolidated Index of Selected Property Values の使い方.....	185
4.2 その他のデータ.....	189

付 表

(Ⅰ) UDC分類表.....	191
(Ⅱ) 日本特許分類表.....	199

